

資料館だより

発行

高松宮記念ハンセン病資料館
〒189 東京都東村山市青葉町4-1-13
電話 0423-96-2909
FAX 0423-96-2981
郵便振込 東京00130-7-764159
高松宮記念ハンセン病資料館運営協力会

記録映画

見えないう壁を越えて 完成

声なき者たちの証言

予法廃止一周年
試写会に七五〇人

らい予防法廃止一周年を記念して財団法人藤楓協会と全国ハンセン病療養所入所者協議会、高松宮記念ハンセン病資料館が企画し、昨年二月より全国十五カ所の国立、私立ハンセン病施設、その他で撮影した記録映画「見えないう壁を越えて」―声なき者たちの証言―が、中山映画によって制作されこの程完成した。

三月三十一日午後一時三十分より東京・有楽町マリオンにおいて試写会が行われた。
当日は藤楓



社会を隔てた壁

らい予防法廃止一周年を記念して財団法人藤楓協会と全国ハンセン病療養所入所者協議会、高松宮記念ハンセン病資料館が企画し、昨年二月より全国十五カ所の国立、私立ハンセン病施設、その他で撮影した記録映画「見えないう壁を越えて」―声なき者たちの証言―が、中山映画によって制作されこの程完成した。

が参加、試写会としては異例な超満員の盛況であった。この映画は公立施設のできる以前の宗教家たちによる救済活動にも触れるとともに、明治四十二年以来九十年間にわたる強制隔離収容政策を告発している。海、堀、垣根など患者と社会、人間と人間を隔ててきたものは何か？ 人々の心の中の「見えないう壁」とは何か？ 偏見差別を助長してきた実態は何だったのか？ 青森から沖縄まで、全国十五園（院）の入所者が述べる赤裸々な証言は真に迫るものがある。

室戸台風、外島事件、長島事件、草津の人権闘争、黒髪校通学拒否事件、藤本事件、らい予防法闘争など長い歴史の中でおきた数々のたたかいかいにもふれ、人権とは何か、人間の尊厳とは何かを問いかけている。

さらに生き残った入所者たちの今後の補償と啓発活動も訴えている。なお、この映画はビデオ化される。

好善社・慰廃園 回顧展

—120年間の貴重資料—

三月一日より四月二十日まで資料館研修展示室において「好善社・慰廃園回顧展」が開催されている。

三月一日は好善社の藤原偉作理事長、成田資料館運営委員長、秋津教会、元慰廃園関係者ら多数が出席してテープカットが行われた。社団法人・



好善社は一八七七(明治十年、英国の婦人宣教師ヤングマンらによって設立され、一二〇年を経た現在でも「全国学生社会人キリスト者ワークキャンプ」をはじめ、タイ国など東南アジアへも活動の輪を広げている。

慰廃園は一九〇五(明治三十八)年、好善社の事業として東京目黒に私立病院として開設された。

第一区全生病院が開設されると政府の委託を受け、一時救護所の役目も果たし



テープカットの両先生

二月四日より三月二日まで「病と隔離」―日本の近代とハンセン病―をテーマにパネル展が開催された。

この展示会には邑久光明園、長島愛生園、大島青松園、多磨全生

大阪人権博物館で「病と隔離」展

園、ハンセン病資料館が協力、連日学生など大勢の観

療協会長、高瀬重二郎氏の「らい予防法廃止と今後の課題」及び近現代史研究者、藤野豊氏の「隔絶のなかのハンセン病」についての講演が行われた。

たが、一九四二(昭和十七)年、運営難により閉鎖、患者五十六名は多磨全生園に移った。運営四十八年間の収容患者数は四、一五九名に達した。

今回展示されている写真資料は、戦争による空襲中も「これだけは」と大切に持って逃げていたという貴重な物で、是非一見をお願いしたい。

バス停改名される ハンセン病資料館

資料館正門前のバス停が四月一日から「ハンセン病資料館」と名称変更されることになった。

全生園南側垣根を回るバス路線(清瀬、久米川、清瀬、所沢間の二系統)に「国立多磨研究所」という停留所があるが、そのバス停は資料館の前にあることから、資料館では早くから名称の変更を要請していた。



「多磨研」が今年一月一日から「国立予防研究所」、さらに四月一日から「国立感染症研究所・ハンセン病研究センター」と改称されることを受けて、この度は国立多磨全生園、入園者自治会、多磨研、資料館四者の連名で要請をしていたところ、四月一日から「ハンセン病資料館」と変更されることになった。

復権元年記念集会での肖像画を贈る

昨年五月十日、らい予防法廃止を記念して行われた全療協多磨支部主催の復権元年祝賀会において、ハンセン病資料館の建設をはじめ、らい予防法廃止、ハンセン病啓発活動などに多大な功績を残された大谷藤郎先生に対し感謝状と肖像画の目録が贈呈された。



肖像画を見る大谷先生と中山泉子さん

謝状と肖像画の目録が贈呈された。

榮えて、大谷先生も喜んでおられた。

肖像画は中山節夫監督の娘さん、中山泉子さん(多摩美大卒)によつてこの程完成、一月二十八日、自治会事務所において贈呈式が行われた。肖像画は、油絵、四十号の大作。大変リアルな出来栄である。

資料館では毎年各療養所の「昔むかし写真展」を順次開催しているが、今年は松丘保養園と長島愛生園の写真展を五月一日(木)より六月三十日(月)まで開催することになった。松丘は一九〇九(明治四十二年)、わが国初の公立療養所五カ所の一つとして開設、長島は一九三一(昭和六)年、初の国立らい療

養所として開設された。共に歴史は古く、それぞれ独特な興味深い写真が沢山寄せられている。なお、今まで紹介された写真展は▼多磨全生園・神山復生病院 ▼菊池恵楓園・琵琶崎待労病院(身延深敬園を含む)▼大島青松園・邑久光明園(外島保養園を含む)で、来年は栗生楽泉園と星塚敬愛園の「写真展」を予定している。

昔むかし写真展

今年は松丘と長島

日活映画「愛する」試写会行われる

日活映画「愛する」の試写会が二月二十八日、五反田のIMAGIKAで行われた。この映画は故遠藤周作の「私が棄てた女」を元に現代風にアレンジしたもので、予防法廃止後、主人

公の森田ミツが入所中の老人を数十年前ぶりに故郷につれて行き、老人が興奮して海の中に入って行く感動的なシーンや、ハンセン病に対する不当な偏見差別の問題にもふれている。

出演者の小林桂樹、岸田今日子、松原智恵子、酒井美紀さんや監督の熊井啓さん、プロデューサーの山口さん、福田さんらは、理解を深めるため資料館を訪れている。映画公開は秋の予定。



資料館見学の酒井美紀さん

ある群像

—好善社百年の歩み—
参考・引用文献／年表／らい療養所・教会所在地地図 三八四頁
日本基督教団出版局
特価二五〇〇円

来館者の声

学校教育で啓発を

・学生 20才 男性

大学の先輩に誘われて来館した。ハンセン病については、らい予防法の件で新聞等で少しだけ触れたが何分、身近でなかったためあまり興味をひかなかった。誰もが病気になる可能性をもっているという意識を持つことが必要だと思った。

・学生 22才 女性

見えていて当時のハンセン病一丸〇一(明治三四)年十月十六日、千葉医学専門学校卒業後、三四年十一月二六日実地研究のため県立千葉病院内科に入局、三六年四月三〇日から三八年四月一四日まで、医学研究のメッカとされた官立伝染研究所に従事する。

明治三十八年四月十五日か

病患者がどんなにむごい状況にあったか、人間以下の扱いを受けていたのがわかり、胸が痛む思いでした。

このような過ちを二度と犯さないように、私には何が出来るんだろうと思ひ考えさせられました。
・ケースワーカー 28才 ショックで胸が苦しくなりました。患者さんへの差別許せません。病人を刑務所には、診療を求めて伝染研究所に集まる、らい患者の救護所となっていた東京市

・製薬メーカー 27才 男性

ハンセン病の症状は知っていたが、見学して歴史や

先駆者①①

中条 資俊

一八七二—一九四七

の目黒慰養園に嘱託医として勤務するも、四二年三月三十一日依願免により退職し

所みたいな所に閉じこめられてひどいです。

・小学四年 11才 女子
病気によって人を差別するなんてぜったいいけない。
・会社員 30才 男性
誤った情報は人権までも奪ってゆく。人権を求めてたかかってこられた患者の方の熱意と情熱には頭の下がる思いだ。正しい情報と意識で差別がなくなっていくならば、こんなうれしいことはないであろう。

・製薬メーカー 27才 男性
ハンセン病の症状は知っていたが、見学して歴史や

明治四二年四月一日、青森に赴任し青森県より北部保養院院長を命ぜられ、同年十二月一日には院長兼任となった。

明治四三年十月六日に内閣より療養所長兼院長を、内務省より北部保養院院長兼院長を任命さ

生活などを学びました。仕事で前の道路を通るたび、行きたいなあーと思っていました。もっと早く来たかったです。

・団体職員 34才 女性
久米川駅前に住んでいながら、貴館の存在さえ知らなかったのはお恥ずかしい。地元民としては、もっと知られていて良いのではないかと考えた。
世界中(特に発展途上国には)まだまだ支援を必要としている患者さんが多いと思うので、貴館の経験がそういう国に伝わり、そのれ治らい薬「TR」をつくり広く応用した。

その後、院長又は園長として一九四七(昭和二二)年三月一日現職のまま世界されるまで、らい患者の診療と療養所の運営に多大な貢献をした。

明治四三年十月六日に内閣より療養所長兼院長を、内務省より北部保養院院長兼院長を任命さ



国の患者さんの救済になれば素晴らしいと思った。

・会社員 31才 男性
現在のHIV等もハンセン病に共通する問題点を抱えていると思う。これまでの教訓というか過去の歴史を将来のプラス的方向へ駆使しなければならぬと思う。学校(小・中・高)教育で、社会を知る上で積極的に来館し、見学するよう取組むべきだと思う。

◎あ тогоき
らい予防法が廃止されて早くも一年が経った。この間療園にはどのような変化があったのだろうか
テレビ、新聞、雑誌等の取材が多くなったこと、一部の人だが映画、講演依頼があること。偽名を本名に戻した。家族や知人等の面会、関係団体等の来園が若干ふえたこと。

表面的には目立たないが徐々に啓発活動が広まっていくのは確かだ。(修)